

緑化だより

No.72 平成24年5月号



ヤマボウシ 平成23年5月22日出会いの広場にて

- 広島県の美味しい なば(2)
- 野鳥の世界(カワラヒワ)
- もみじの話(2)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

広島県の美味しいなば

No.2 サクラシメジ(桜占地)

4月から、広島県内の野山に発生し(栽培きのこではなく)採集され食べられている美味しい野生きのこを取り上げています。

今月はサクラシメジです。サクラシメジは県北では“赤なば”とか“谷渡り”という方言名で親しまれている食用きのこです。方言名が多いということは昔から多くの人に親しまれ食されてきたという証拠でもあります。

サクラシメジは秋に広葉樹林(コナラ)に群をなして発生するきのこです。

傘の中央部はワイン色で、この色が“桜しめじ”とつけられた由縁でしょう。その時期に適当な雨量があれば大発生するので県北のスーパーや道の駅などで売られているのをよく見かけます。やや苦い味がしますが人気のあるきのこです。この美しい色も煮ると黄色く変色してきます。

似た仲間では、針葉樹林に発生し、柄に繊維状のつばがあるサクラシメジモドキがありますが(サクラシメジにはつばはありません)こちらも食用です。(川上)



サクラシメジ

野鳥の世界

カワラヒワ

スズメと同じくらいよく出会うのに、ほとんどの人々から見逃されている野鳥です。

カワラヒワのさえずりはカナリヤに似て、“キリッ、コロロ”と繰り返す、おわりに“ビーン”と長く引く習性があります。

巣作りや子育てをする、4月から5月になると、高い梢に止まってさえずるので、姿が見えなくてもカワラヒワだとわかります。

巣はお椀型で大きさもお茶碗くらいです。

比較的低い所に作られるのですが、いざ探すとなると中々見つかりません。ヒナの数は4~6羽で雄雌ともに給餌をし、カラス、ネズミやイタチなどの天敵に襲われなければよく育ちます。巣立ちした親子はしばらく一緒に行動し、餌の種類、天敵など生きるための知恵を教わるようです。鳴き交わしながら同じ行動をとっている様子はいつ見ても微笑ましいものです。好物はタデ類、マツヨイグサ、ヨモギ、ススキなどの種子のようです。体の色は濃い緑色を基調にし、主翼の黄色い斑点が目立つほかは全体が黒っぽく見えます。飛び立つと黄色の斑紋が広がって目立ち、その瞬間だけ“キリッ、コロロ”と声をかけて飛び去りかわい印象を残します。(吉見)



カワラヒワ

もみじの話(2)

八重桜が終り5月の声を聞く頃、ウツギの仲間、ツツジ類、ヤマボウシなどが一斉に花開きます。

ウツギの仲間では、ウツギ、ヒメウツギ、バ
イカウツギ、サラサウツギ。

スイカズラの仲間のタニウツギ、ハコネウツ
ギ、ツクバネウツギなど。

アジサイの仲間のガクウツギなど。

ツツジ類ではキリシマツツジ、キシツツジ、モ
チツツジ、ヒラドツツジ、カルミアなどがありま
す。ハンカチノキやナンジャモンジャも白い
花を咲かせます。

この頃見過ごされがちなのがカエデの花で
す。カエデは秋のものと思われがちですが、
初夏のカエデも魅力的です。

4月に咲く紅色のハナノキに続き、ハウチ
ワカエデ、オオモミジ、ヤマモミジの花が、新
緑の葉に映えて赤い花柄を伸ばします。そこ
には翼果がすでに形づくられつつあります。
小さくて目立ちませんが、よく観察すると、こ
れらカエデの花は引き込まれるような美しさ
を持っています。

緑化センター本館事務所前のオオモミジ
は、同種の中では最大級とされています。こ
のオオモミジをはじめヤマモミジ、イロハモミ
ジ、ハウチワカエデ、コハウチワカエデ、ウリ
ハダカエデ、園芸品種の出猩々(でしろうじょ
う)、青崖(せいがい)など 20 数種類のカエデ
が園内で見ることが出来ます。

形が似ているところから、“蛙手”がカエデ
になったとされていますが、「モミ(蝦蟇)、ア
カガエル」の手の転とする説もあります。

(松岡静雄著 日本古語辞典)

カエデの仲間の葉の形は色々で、山林部に多いウリハダカエデは、イタヤカエデに形
が似ていて、切れ込みがあまりありません。ヒツバカエデやチドリノキは一枚の葉で切れ
込みがないため、一見カエデと思いませんが、翼果をつけるカエデの特徴と、対生である
ことで見分けます。メグスリノキやミツデカエデは三葉でちょっと見ると見分けが付きにくい
ものです。(正本)



ツクバネウツギ



ハウチワカエデの花



オオモミジの発芽

研修会のご案内

- 5月10日(木) 『緑のカーテン教室』 10:00～12:00 学習室集合
家の壁を緑で飾り、エコ生活を！ 講師:環境カウンセラー 正本 大
- 5月12日(土) 『5月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前集合
新緑の樹木を知ろう 講師:植物研究者 清藤 徹
- 5月16日(水) 『コケの観察会』 10:00～12:00 学習室集合
こけにしないコケの話と実地観察 講師:広島大学名誉教授 関 太郎
- 5月19日(土) 『庭木の病虫害教室』 10:00～12:00 学習室集合
病虫害の対策を学ぼう 講師:緑化センター職員 正本 良忠
- 5月20日(日) 『春の探鳥会』 9:00～12:00 管理事務所前集合
巣立った野鳥を見よう 講師:日鳥連会員 吉見 良一
- 5月25日(金) 『初歩のデジカメ教室』 10:00～12:00 学習室集合
上手に撮影する基礎テクニックを学ぼう 講師:写真家 大藤 哲己

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会のお知らせ (展示場所:レストハウス)

ボタニカル・アート展 4月26日(木)～6月7日(木)

植物を精密に描いた絵を展示しています。

七宝焼同好会作品展 5月9日(水)～6月20日(水)

七宝焼同好会の作品を展示します。

緑化写真コンクールは、春はなくなり、秋だけになりましたので、お知らせします。



昨年のボタニカルアート展

◎ 臨時開園のお知らせ

5月は休園日なし。

ハンカチノキや春の花をお楽しみ下さい。

◎ 園内を利用される皆様へ

ペットを連れて利用することはできますが、リードでつなぎ、糞はお持ち帰りください。

園内を車で走行される際は、「徐行」でお願いします。



昨年の七宝焼作品展



表紙; ヤマボウシ ミズキ科ミズキ属

名前は、花の姿が白い頭巾をかぶった山法師に似るところに由来する。白く大きい4枚の花弁に見えるのは総苞片で、花は、中心に20個くらいが密集してつく。花弁とおしべは4個、花柱は1個。

秋、赤く熟した実はそのまま食べられる。